

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	バートんち		
○保護者評価実施期間	7年 4月 1日		～ 8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	7年 4月 1日		～ 8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育を行っており、十分なスペース確保とアットホームな施設となっている。	個別療育を中心としているため、利用児童の状態や活動内容に応じて、室内環境や使用する場所を柔軟に調整しています。清潔保持や空調調整も日々行っています。	個室やくつろげるスペースの活用をさらに工夫し、安心して過ごせる環境づくりを継続します。
2	保護者同伴の療育を行い、親子一緒に支援を行っている。	保護者同伴の個別療育の中で、毎回こどもの様子や課題を共有し、その場で相談や助言ができるようにしています。	家族支援の機会を継続し、子育てカフェや情報発信などを通じて、保護者同士やきょうだいを含めたつながりづくりも充実させます。
3	十分なスタッフ配置と専門性のある支援がある体制を整えている。	看護職員や児童指導員、児童発達支援管理責任者等が連携し、チームで支援内容を検討しています。	外部研修や法人内研修を継続し、支援の質の向上を図ります。
4	保護者の要望に応えながら、柔軟に活動プログラムを計画している。	こどもの状況や保護者の意向、併行利用先での様子も踏まえ、活動プログラムが固定化しないようチームで計画しています。	支援プログラムの見直しを継続し、より具体的でわかりやすい支援内容の共有・公表につなげていきます。
5	通所事業のなかで入浴支援体制もとっている	入浴支援を含め、医療的ケア児・重症心身障がい児等の状態に応じた支援ができるよう、必要な体制整備を行っています。	安全面や手順の確認を継続し、安心して利用できる支援体制の維持・向上に努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	市街地から離れており、通所に時間がかかる。	自然豊かな場所での療育を目的としているため、住宅地や学校等の生活圏から遠い。	送迎車両の確保や通いやすい利用方法の工夫に努めていきます。
2	非常時対応や安全に関する取組の保護者への周知が十分でない。	マニュアル作成や安全計画、訓練の実施は進めているが、保護者に対して継続的・具体的に伝える機会が不足していた。	マニュアルや安全計画の内容、訓練実施状況について、面談・書面・掲示・SNS等を通じてわかりやすく周知していきます。